

2020年1月17日

各位

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

## **東急不動産ホールディングス株式会社が発行する グリーンボンドの引受けについて**

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長 荒木 三郎、以下当社）は、このたび、東急不動産ホールディングス株式会社（以下、東急不動産HD）が発行するグリーンボンド<sup>(1)</sup>「東急不動産ホールディングスグリーンボンド」（5年債100億円）の引受けにおいて事務主幹事およびGreen Bond Structuring Agent<sup>(2)</sup>を務め、本日、同グリーンボンドの条件が決定されましたことをお知らせします。

東急不動産HDは、環境方針として、「事業を通じて環境と経済の調和に取り組む」ことを掲げ、現在の中期経営計画では成長戦略の一つである「循環型再投資事業の領域拡大」の一環として再生可能エネルギー事業への投資を推進しています。さらに、同計画ではESG<sup>(3)</sup>マネジメントを推進し、2020年度KPI目標を設定、CO2削減目標のほか、廃棄物の排出量、水の使用量を2005年度比で25%削減することを掲げています。

今般発行するグリーンボンドにより調達された資金は、「渋谷ソラスタ」及び「リエネ松前風力発電所」に関連する支出に充当される予定です。

本件グリーンボンドは、適格性と透明性の確保および投資家への訴求力向上のため、第三者評価として、世界的なESG評価会社であるサステナリティクスからセカンドパーティ・オピニオンを、株式会社日本格付研究所（JCR）より「JCRグリーンボンド評価」の最上位である「Green1」の評価を取得しています。また、環境省の2019年度グリーンボンド発行促進体制整備支援事業の補助金の交付対象となっております。

2006年に国連責任投資原則（PRI: Principles for Responsible Investment）が制定されて以来、世界のESG投資が拡大していることを受けて、資金使途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド等の発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESGをテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本件グリーンボンドの概要)

債	券	名	東急不動産ホールディングス株式会社第 22 回無担保社債 (社債間限定同順位特約付) (グリーンボンド)
取	得	格	付 : A (JCR)
年		限	5 年 (2025 年 1 月 23 日償還)
発	行	額	100 億円
利		率	0.190% / 年
払	込	期	日 : 2020 年 1 月 23 日
主	幹	事	三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券、みずほ証券、大和証券

Green Bond Structuring Agent : 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券

- (1) 環境事業に要する資金を調達するために発行する債券。本件グリーンボンドは、国際資本市場協会 (International Capital Market Association : ICMA) が定義する「グリーンボンド」の特性に従った債券である旨、第三者機関による評価を取得している (第三者機関 : サステイナリティクス、JCR)。
- (2) グリーンボンドのフレームワークの策定およびセカンドオピニオン取得の助言等を通じて、グリーンボンドの発行支援を行う者。
- (3) 環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) の英語の頭文字を合わせた言葉。

以上